



やまなし

第74号 2010年7月15日(年3回発行)

「第4回 山梨県作業療法学会を終えて」

副学会長 工藤 亮

平成22年4月25日(日)、爽やかな春風が吹くなか、今年も山梨県作業療法学会が盛大に開催されました。『出会い～30年の歴史と明日への歩み～』をテーマに、山梨県作業療法士会創立30周年記念式典が盛り込まれた本学会は、これまでに刻まれた“大切なもの・想い”を継承しながら、明日への一步を踏み出せた記念すべき大会となりました。

会場も私達を後押ししてくれました。今回から、馴染みがある山梨市民会館から山梨県立大学池田キャンパスへ移行しましたが、すがすがしい雰囲気をかもし出すキャンパスは、294名を数えた参加者全員の素敵な“出会い”を演出してくれました。

プログラムに関しては、とても充実した内容でした。診療場面で得られた成果や課題等を報告していただいた18の一般演題から始まり、平成22年度山梨県作業療法士会定期総会(総会後は、磯野弘司理事による法人化に関する説明会や山本伸一会長による5・5計画の説明会を実施)、貴重なお写真や当時の裏話を交えながら、中村雄学会長を始め諸先輩方が歩まれた30年をご教授いただいた記念講演、そして、「生活を支えるOTをめざして」と題し、“OTが得意なこと”“自分がしたいこと”何をしているときに意味を感じ、社会の役に立っていると感じるか”について、シンポジストの方々と意見交換をしたシンポジウム。

どのセッションも、自身自身を振り返りながら、目標とするOT像を再認識する有意義な時間となりました。特に、シンポジウムは、今回が初めての試みであり、司会をお願いした渡辺邦夫氏をはじめ、3名のシンポジストの方々には、事前の準備や細部の調整までたくさんの時間をさいていただきました。本当にありがとうございました。

そして、恒例のコーナーも学会を盛り上げていただきました。当事者の方々による生製品の紹介・販売や関連業者による機器展示・体験・書籍販売等は、昨年よりもバージョンアップした形で私達に驚きと感動を与えて下さいました。お話をする中で、その方が実践されてきた活動を理解し、共有したいと願う“出会い”がそこ

もくじ

1p	山梨県作業療法学会を終えて
3p	身障だより
5p	一年目を振り返って
7p	新入会員情報
8p	精神科だより
10p	理事会だより
13p	広告
16p	各種申請書変更のお知らせ ・編集後記

にはありました。

長いようで短い、池田キャンパスでのスケジュールを終えた後は、会場をベルクラシック甲府へ移し、山梨県作業療法士会創立30周年記念式典とレセプションが行われました。記念式典に関しては、来賓の方々に多数のご出席を賜り、お祝いと激励のお言葉を頂戴しました。また、レセプションでは、現在に至るまでの功績をスライドショーとして上映する催しもあり、先輩方が歩んでこられた軌跡を胸に刻むことができました。

最後に、第4回山梨県作業療法学会が無事に終わられたこと。関係された全ての方々に感謝申し上げます。そして、40名の運営部員の皆さん、本当にお疲れ様でした。共に1年間、準備をしてきましたが、積み上げてきた努力がようやく実を結びました。今回、部員の皆さんとの“出会い”を通し、私自身もたくさんのことを学びました。皆さんにとっても、明日への歩みにつながる“出会い”であったことを願います。楽しい時間をありがとうございました。

山梨県作業療法学会は、今後も皆様の学会として発展していきます。同じ作業療法士として“手を取り合い”、“労をねぎらい”“お互いをたかめ合う”そんな場であってほしいと考えます。第5回大会もたくさんの“出会い”があることを期待します。

＜地域リハビリテーション委員研修会＞	
主 催	山梨県作業療法士会 地域リハビリテーション委員会 介助犬グループ
テーマ	介助犬とリハビリテーション
講 師	高柳 友子 氏(社会福祉法人 日本介助犬協会事務局長)
日 時	平成22年7月25日(日)13:00～16:00(受付12:30～)
会 場	地域交流施設 大木記念ホール
対 象	山梨県作業療法士会会員
定 員	80名
参加費	無料
申込み	申込書にて、平成22年7月14日(水)までにFAXにてご送付ください。
問合先	甲府城南病院 リハビリテーション部 吉田 尚史 TEL:055-241-5811 FAX:055-241-8660
その他	本研修会は、日本作業療法士会生涯教育制度基礎コースポイントの対象研修会に該当します。当日は、生涯教育手帳をお忘れなくご参加ください。 会場の駐車場には限りがございます。各施設乗り合わせてご参加ください。また、会場付近の道路で渋滞が予想されますので、時間に余裕を持ってお越しください。

身障だより

竜王リハビリテーション病院 青木 玲子
吉金 直美

当院は、療養型病床群という比較的長期の入院が可能な環境で、リハビリテーションを行なっています。昭和 47 年に『竜王外科医院』として開院、『竜王外科温泉病院』『竜王リハビリテーション病院』と変遷し、現在に至ります。訪問看護ステーション、デイケア、ヘルパーステーションを併設しており、入院から在宅まで地域に密着した医療、介護の提供を行なっています。また、訪問リハビリテーション事業所も開設しています。

今回は、院内での作業療法の様子を紹介させていただきます。

病床数は 118 床で医療保険、介護保険の療養型の病床になります。患者様の平均年齢は 78 歳で、20 代から 101 歳までの方が入院されています。対象となる疾患は脳血管障害、廃用症候群、パーキンソン病、認知症などが主になっています。自宅退院や施設に入所されるまでリハビリを行なう方や、医療措置を継続的に必要とされる方がいます。

この写真は病院の外観です。なんとなく“船”の形に見えませんか？理事長先生が一級船舶の免許を持っており、大好きな海になぞらえてこのような建物になっているそうです。院内が少し複雑なため、新人さんや学生さんが迷子!?!になることも…。

当院では、一年を通して、お花見、夏祭り、文化祭、クリスマス会など四季折々の行事を開催し、患者様に季節を感じてもらう機会をつくっています。また、週一回音楽療法士、言語聴覚士と共に音楽療法を行なっており、OT は体操や場の雰囲気づくりを担当しています。これらの活動の中では、日頃リハビリ中には見ることでできない患者様の表情が見られたり、患者様同士の交流があったりと新しい一面を発見することも多々あります。





ヨーヨー・焼きそば・かき
氷！盆踊りにすいか割りと
夏を満喫できる一日です☀



＊＊クリスマス会＊＊
子供たちの踊りやスタッフ
の余興は毎年見ものです

さて、当院のOT室ですが…とにかく **せまい！** んです。

物にあふれ、プラットホームは一つしか置けず、場所の取り合いが毎日行なわれています。しかし、逆にこの近い距離感がアットホームな雰囲気を作り出してくれています。すぐ隣で起こる動きや音の変化に、興味や驚きなどの感情が芽生えることもあります。隣の変化に動じず自分の課題に取り組む人もいます。隣の人を手伝おうとしてくれる人もいます。このような場面が、その人の個性や発動性を引き出してくれていると思います。OTはこのような“環境”も治療の手段に使って患者様と関わっています。

また、当院のOT室にはドンキホーテ並みに治療器具がひしめき合っています。その中から、患者様の身体・認知機能、パーソナリティに合わせて Activity の工夫をしています。その Activity の中で見せるわずかな変化に、関わっているこちらと一緒に悩んだり喜びあっています。

当院のOTは総勢 10 名です。うち 2 名は訪問・デイケアに専従となっています。和気あいあいとした雰囲気の中で OT をしています。

今後とも、県士会活動や研修会などでお世話になるとは思いますが、よろしくお願いいたします。



「1年目を振り返って」

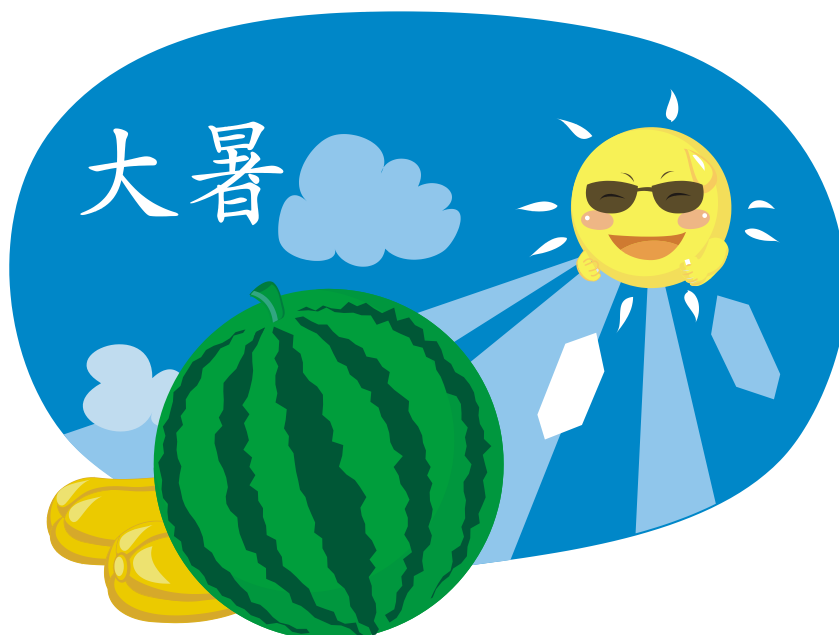
山角病院 作業療法室 岩田悠弥

OTとして働き始めて「もう1年経ってしまったのか」と感じます。

就職した当初は、病院の流れを知ること、患者さんを覚えること、業務を覚えることなどで精一杯の毎日でした。やっと、覚えたと思ったら、再び新しく覚えることが出てくるという繰り返しの日々だったように感じます。そんな日々の中で先輩方からは優しくアドバイスを頂き、多くのことを教えて頂きました。

1年が経ち、患者さんの名前も覚え、プログラムの司会なども慣れてきたように感じます。しかし、患者さんを覚えることに精一杯で、患者さんを知ることということには不十分な点が多々あったと感じます。また日々のプログラムをこなすことに精一杯で、内容のことを考えることに不十分さを感じるようになりました。患者さんのことをもっと深く知り、関わりを持てないか。プログラムの方向性を患者さんに合うように考えなければ、と考えることが多くなってきました。

今年度は、既に先輩方からはいろいろなアドバイスを頂き、形に出来る様に努力をしていきたいと思います。また他職種と話し合う機会をより持てるよう努力し、情報を共有しながら患者さんへの関わりを深く考えられるように努力していきたいと思います。



石和共立病院 八代 雄太

私が石和共立病院に入職して、業務の内容を覚え必死になって仕事を行っていると気づけば一年が過ぎていました。私が配属されたのは、通所リハです。社会人一年目ということや、職場には新人の職員が僕一人ということもあり、とても緊張して一日目を向かえたのを覚えています。

一人で何人もの利用者さんを担当し、限られた時間の中でどのように接していけばよいのか解らずに苦悩する毎日でした。そこで職員の先輩からの「大丈夫？」や「今悩んでいることはない？」などの声かけや、休憩の際の会話などで気持ちが楽になったりもしました。また、業務の中では職員数の少なさなどから利用者さんだけに目を配るだけではなく、他職員の動きなどを見て自分がすべき仕事を把握する難しさ、またそれを補うためのコミュニケーションの重要性を学ぶことができたと思います。さらに、通所リハでは利用者さんが毎日来られる人はほとんどいないこともあり、一人一人の生活環境、生活の様子など全体像を把握することも満足に行くことはできませんでした。

先輩方からは、利用者さんを把握することで、疾患自体の知識不足、実際の生活場面などの情報収集不足、他職種、同職種との連携ができていないことなど多くのことでアドバイスをいただきました。

今年からは職場が変わり、入院リハでの勤務になります。入院リハという環境も初めてなので他の職員の方には迷惑など多くあると思います。しかし、去年一年間で学ばせていただいたことを活かし、患者さん一人ひとりのことをしっかりと把握しその人にあった生活へと繋げることが課題になるのではないかと思います。



WELCOM NEW FACE

氏 名	所属施設	氏 名	所属施設
向山 巧磨	石和温泉病院	河村 千尋	石和温泉病院
飯室 達也	石和温泉病院	古明地 哲也	石和温泉病院
小沼 香織	石和共立病院	望月 裕司	石和温泉病院
田中 裕美	石和共立病院	八代 雄太	石和共立病院
松土 聡司	石和共立病院	清水 智加	石和共立病院
中田 由布子	一宮温泉病院	嶋崎 聡美	おおくにいきいきプラザ
井上 智子	おおくに訪問リハビリテーション	竹内 浩晃	春日居リハビリテーション病院
山下 浩平	春日居リハビリテーション病院	橋爪 義誠	春日居リハビリテーション病院
市川 留美	春日居リハビリテーション病院	長塚 良太	介護老人保健施設 玉穂ケアセンター
小林 実乃里	介護老人保健施設 玉穂ケアセンター	滝口 さや香	介護老人保健施設 白樺荘
保坂 恵美	介護老人保健施設 ひばり苑	齋藤 隆広	峡西老人保健センター
清水 悠司	峡西病院	牧野 有希	日下部記念病院
春山 佳代	健康科学大学	田村 孝司	健康科学大学
熊澤 大貴	健康科学大学 リハビリテーションクリニック	堀内 美香	甲府城南病院
森田 智絵	甲府城南病院	丸山 暁	甲府城南病院
萬代 真実	甲府城南病院	滝澤 慎太郎	甲府城南病院
佐藤 麻紀	甲府共立病院	古屋 裕志	甲府共立病院
相川 菜美	巨摩共立病院	岩谷 彩加	巨摩共立病院
河野 裕美	三生会病院	森嶋 雅史	ツル虎ノ門外科リハビリテーション病院
川末 英治	ツル虎ノ門外科リハビリテーション病院	大胡田 匡詞	ツル虎ノ門外科リハビリテーション病院
和田 久美	ツル虎ノ門通所リハビリテーション そよかぜ	久嶋 華奈	ツル虎ノ門通所リハビリテーション そよかぜ
両角 侑加	笛吹中央病院	勝俣 岳太	富士温泉病院
小田島 千春	富士温泉病院	下川 美咲	富士温泉病院
福重 愛美	富士温泉病院	渡辺 昇一	富士吉田市立病院
岩田 悠弥	山角病院	廣瀬 沙矢香	山角病院
今泉 隼	山梨厚生病院	市ノ瀬 佳織	山梨赤十字病院
今福 恵利	山梨リハビリテーション病院		

*この会員情報は、平成21年6月～平成22年7月2日 (敬称略・順不同)
現在の事務局情報を元に作成しています。

精神科だより

回生堂病院 天野若奈

今回初めて、回生堂病院で担当させて頂くことになりました。まず始めに少し、当院の紹介をさせて頂きたいと思います。

都留市にある当院は、郡内に2つある精神科病院のうちの1つです。南西には富士山が一望でき、近くには山、川と、豊かな自然に囲まれ、四季を存分に感じることができます。現在は、精神科一般病棟・療養病棟、認知症治療病棟を合わせて240床あり、OT室には女性ばかりの3名の作業療法士が在籍しています。

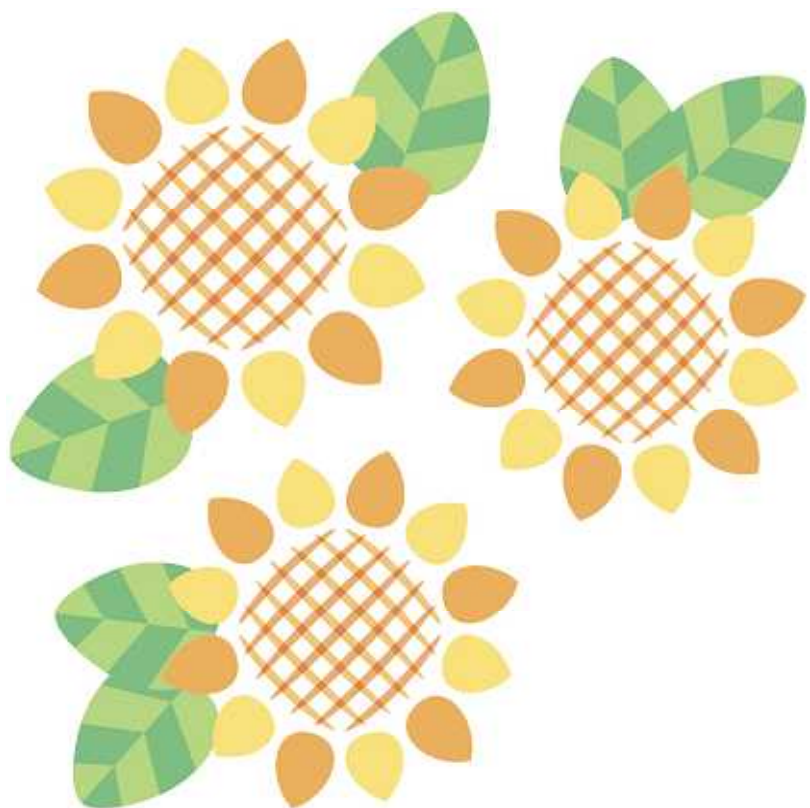
早いもので私が当院で作業療法士として働くことになり、5年目を迎えました。私が就職した時には、作業療法士がいなく、まずは物置き状態となっていた部屋の掃除から始まりました。先輩作業療法士がいない中、多くの不安を感じながらも同僚と協力し、周囲に支えられながら、新しい気持ちで1年目をスタートしました。2年、3年と過ぎるうちに、院内での行事で季節を感じるようになり、同じことを繰り返しているだけのように思うこともありました。自分が成長できているのか不安を感じながらも、「今この病院で、私が作業療法士として何ができるか」を常に考えながら、自分なりに精一杯過ごしてきました。そんな4年間で一年一年振り返ってみると、色々な経験や思いがあり、少しずつですが、この病院の中で自分自身もOT室も、成長できているように思います。

私は当院と同じ、都留市で生まれ育ちました。都留市は田舎で、冬は寒く、交通の便も悪いですが、私はこの街が好きです。患者様とも小中学校の校歌と一緒に歌ったり、古くからの店について話したりと、地元の話で盛り上がるのがよくあり、地元の病院であることの楽しさを感じています。そんな中、「これでいいのかな…」という不安や迷いは常にあり、先輩のいない中、OT室を作り上げていくことの難しさを感じる毎日です。当院のOT室は、県内の他の精神科病院よりは遅いスタートであり、まだまだ未熟です。この病院で自分が作業療法士としてできること、やらなければならないことは、まだまだたくさんあると思います。これからも、この病院での自分を生かしながら、少しでも多くの患者様の生活の支えになれるようなOT室を作っていければと思います。

最近では、実習生を指導する機会も増えてきたなかで、自分の未熟さや責任を痛感することが多くありますが、実習生指導を通して自分が学ばせてもらうことも多くあり、どんな経験も自分が成長する糧になると感じています。



今回、精神科だよりを書く機会を頂き、今までの作業療法士としての自分をゆっくりと振り返ることができました。新しい気持ちで5年目をスタートし、作業療法士として自分ができることを見つけながら、同僚と協力し、これからも前向きに頑張っていきたいと思います



理事会だより

平成22年度2月期 山梨県作業療法士会理事会

日時：平成22年2月16日（火）

会場：山梨リハビリテーション病院 作業療法室

出席者：山本、廣田、三瀬、磯野、山田、松田、黒崎、飯野、工藤、古屋；10名

1.事務局（三瀬）

1)日本作業療法士協会より、自立支援に向けた作業の捉え方とその評価・支援技術研修会の案内を受託。学術局局長が出席予定。

2)山梨県作業療法士会30周年記念式典の進捗状況について。

3)来賓団体への案内状を送付した。また、記念誌については現在作成中。記念品についてはボールペンに決定し、発注済み。

2.事業局（山田）

＜保険医療福祉部＞

1)平成21年11月25日（木）に開催した、「福祉の仕事セミナー」のアンケート集計が終了。

3.学術局（松田・黒崎・工藤）

＜生涯教育部＞

1)平成22年3月7日（日）に、帝京医療福祉専門学校にて事例報告・事例検討会を開催予定。

4.常設委員会（古屋）

＜倫理委員会＞

1)平成22年2月18日（木）に、山梨県福祉プラザにて研修会を予定。

＜福祉用具委員会＞

テーマ：福祉用具支援「実践編① コミュニケーション支援」

日時：平成22年2月6日（土）、7日（日）

会場：地域交流施設 大木記念ホール

講師：今井 啓二氏、仁科 恵美子氏、

日向野 和夫氏、山本 摂氏

参加者：30名

＜災害対策準備委員会＞

1)研修会について

テーマ：「大規模災害に対する心構え」

日時：平成22年2月2日（火）

会場：山梨県立青少年センター 2F

多目的ホール

講師：山梨県 消防防災課 防災対策担当
課長補佐 深尾 嘉彦 氏

参加者：79名

5.監事（中村・佐田欠席）

1)監査の日程について、平成22年3月24日（水）に実施予定。

平成22年度3月期 山梨県作業療法士会理事会

日時：平成22年3月24日（水）

会場：山梨リハビリテーション病院 作業療法室

出席者：山本、廣田、三瀬、飯野、青木、磯野、山田、松田、黒崎、工藤、古屋、中村、佐田；13名

1.会長（山本）

1)健康科学大学卒業式に出席。

2)健康科学大学入学式に出席予定。

2.副会長（廣田・川崎）

1)健康長寿やまなし推進本部委員の委嘱及び会議に、廣田副会長が出席。

3.事務局（三瀬）

1)山梨県福祉保健部より健康長寿やまなし推進本部委員推薦の依頼を受託。山本会長を推薦した。

2)中北地域リハビリテーション連絡会より、第2回会議の案内を受託。三瀬事務局長が代理出席予定。

平成22年度4月期 山梨県作業療法士会理事会

日時：平成22年4月14日（水）

会場：甲府城南病院 作業療法室

出席者：山本、廣田、川崎、三瀬、飯野、青木、磯野、山田、松田、黒崎、工藤、古屋、佐藤、長坂、宇野；15名

1.事務局（三瀬）

- 1)日本作業療法士協会より、協会表彰の結果を受託。山梨県作業療法士会では、佐田 剛氏（石和共立病院）、守口 恭子氏（健康科学大学）の2名が協会表彰を受賞。
- 2)山梨県リハビリテーション病院施設協議会より、総会の案内受託。事業報告提出及び総会へ出席予定。
- 3)平成22年度 山梨県作業療法士会定期総会の進捗状況について。議案書を発送した。

2.広報局（飯野）

<企画編集部>

- 1)平成22年3月11日（木）に、第73号広報誌を発送。現在、第74号企画会議中で、平成22年7月15日（木）に発送予定。

3.保険局（青木）

- 1)診療報酬改定についてホームページ上へ掲載するよう広報局へ依頼中。
- 2)日本作業療法士協会主催の「自立支援に向けた“作業”の捉え方とその評価・支援技術研修会」へ青木保険局長が参加。

4.事業局（山田）

<厚生部>

- 1)平成22年5月の下旬に、新人転入者歓迎会を開催予定。

5.学術局（松田・黒崎・工藤）

<生涯教育部>

- 1)平成21年度の士会裁量ポイントの発送を行った。

<学会運営部>

- 1)第4回山梨県作業療法学会について
平成22年3月25日（木）時点で、会員265名・非会員1名の参加申し込みあり。
記念式典は149名の参加申し込みあり。
平成22年4月6日（火）に学会誌を送付。

6.臨時委員会（磯野）

<法人化準備委員会>

- 1)第4回山梨県作業療法学会にて、法人化の説

明を行う予定。

平成22年度5月期 山梨県作業療法士会理事会

日時：平成22年5月14日（水）

会場：甲府城南病院 作業療法室

出席者：廣田、古屋、川崎、中村、三瀬、佐藤、長坂、山田、宇野、青木、松田、工藤、磯野、関谷；15名

1.副会長（廣田・川崎）

- 1)平成23年に山梨県で開催される、作業療法全国研修会について
- 2)平成23年9月18日（日）・19日（月）に、山梨県で作業療法全国研修会を開催することが決定した。平成22年7月23日（金）、24日（土）の都道府県連絡協議会会議において内容を検討していく。

実行委員長：山本 伸一（山梨リハビリテーション病院）

副実行委員長：廣田 真由美（石和温泉病院）
会場担当：磯野 弘司（春日居リハビリテーション病院）、
受付担当：三瀬 和彦（甲府城南病院）、
講師接待：古屋 豊美（山梨厚生病院）。

その他、運営委員として、50名～60名の県士会員を募集予定。

2.事務局（三瀬）

- 1)山梨県リハビリテーション病院施設協議会総会へ三瀬事務局長が出席。
- 2)平成22年度 山梨県作業療法士会定期総会についての報告
参加者：総会出席 144名
委任状 130名（士会員数 420名中）
- 3)山梨県作業療法士会定期総会資料を作成し、県内各施設・関連団体へ送付を済ませた。
- 4)山梨県作業療法士会30周年記念式典についての報告

記念式典参加者：来賓11名、士会員140名

<管理部>

- 1)各施設に会員登録確認の書類送付を済ませた。
- 2)山梨県作業療法士会役員改選に伴い、関連団

体へ報告書類の送付を予定している。

〈財務部〉

- 1)平成 22 年度の山梨県作業療法士会会費納入の依頼を、各施設に送付済み。

3.広報局 (佐藤)

〈企画編集部〉

- 1)広報やまなしの発送を、平成 22 年 7 月 15 日 (木)に予定している。

4.社会局 (山田・宇野)

〈渉外部〉

- 1)訪問介護職員 1 級養成講座に、山田 稔氏(富士温泉病院)、宇野 正顕氏(甲府城南病院)を講師として派遣予定。

〈厚生部〉

- 1)平成 22 年 5 月 26 日 (水)、ロイヤルガーデンホテルにて新人転入者歓迎会を開催予定。

5.学術局 (松田・青木・工藤)

〈生涯教育部〉

- 1)平成 22 年 5 月 26 日 (水)、18 時より新入会会員に対し生涯教育制度の説明を予定。
- 2)平成 22 年 7 月 13 日 (火) に開催される現職者共通研修会について、講師は山本伸一氏(山梨リハビリテーション病院)に決定。

〈学会運営部〉

- 1)第 4 回山梨県作業療法学会についての報告参加者 294 名(事前申し込み 246 名、当日申し込み 48 名:内新入会員 41 名、学生 4 名、県外者 2 名)
- 2)第 5 回山梨県作業療法学会の開催予定について。平成 23 年 4 月 17 日 (日) 開催予定。
学会長: 廣田 真由美 (石和温泉病院)
副学会長: 工藤 亮 (山梨リハビリテーション病院)・古屋 豊美 (山梨厚生病院)

6.特設委員会 (磯野)

〈地域リハビリテーション委員会〉

- 1)平成 22 年 7 月 24 日 (土)、25 日 (日)に、介助犬グループが研修会を予定している。



ノラケノン筋電計シリーズ

簡単操作で バイオフィードバック トレーニング

酒井医療株式会社
関東第三営業所
Tel : 048-255-0451
www.sakaimed.co.jp




携帯型筋電図計測装置 マイオトレース400

わたしたちは人生を毎日楽しんでいただけるよう **3Life** をサポートいたします。

Life①生命 「痛い」「熱い」など、生物としての感覚レベルでの適合 お客さまひとりひとりの身体の形・機能に合った製品を心をこめて選び、作り、お渡ししています。	 義肢装具	 車いす
Life②生活 「食事」「睡眠」「移動」など、人間としての日常生活レベルでの適合 さまざまな提案をすることにより、生活シーンごとに生じる問題を解決し、より快適な暮らしが出来るようお手伝いをしています。	 PPSスイッチ	 コミュニケーション機器
Life③人生 「就職」「社会的活動」「レジャー」など、個人としての自己実現レベルでの適合 仕事や趣味・スポーツなど色々なことにトライし、自分らしさを求めるお客さまを深い経験と高い技術力でサポートしています。	 エアバッグセンサー ピエゾセンサー	 ゲイトソリューションデザイン マイスプーン



山梨営業所 〒406-0024 山梨県笛吹市石和町川中島188
TEL 055 (262) 9630 FAX 055 (262) 0787

医療科学部 作業療法学科

新しいコラボレーションに挑戦!!!



医療科学部

作業療法学科 (40名)
理学療法学科・柔道整復学科





生命環境学部

アニマルサイエンス学科
生命科学科・自然環境学科



こども学部

こども学科

【上野原キャンパス】

山梨県上野原市八ツ沢2525





小淵沢 甲府 大月 上野原

甲府～上野原 67分
JR上野原駅から乗換バス8分

いのちをまなぶキャンパス

帝京科学大学

0120-248-089
入試専用ダイヤル

介護用品/福祉用具販売 住宅改修 車椅子オーダーメイド
介護保険レンタル 居宅支援事業

安心をお届けしたい・・・

株 サシカイゴ

中央店 中央市中橋91-1 TEL: 055-274-1152
シルバー店 甲府市富士見1丁目3-32 TEL: 055-251-2528

やさしさ・おもいやり・・・

GC (有) ゴット케어
GoodCare, LTD.

甲府市住吉4丁目 6-24
☎055-236-6006

当社は、在宅福祉を支援する会社です。
お気軽にご相談ください。

事業内容：居宅介護支援、通所介護、訪問介護
福祉用具貸与・販売、住宅改修





新時代の
医療・福祉・心理の
スペシャリストを目指して





健康科学大学

理学療法学科
Department of Physical Therapy
 作業療法学科
Department of Occupational Therapy
 福祉心理学科
Department of Welfare and Psychology

所在地:〒401-0380 山梨県南都留郡富士河口湖町小立7187

資料請求・お問い合わせ 入試広報課 tel.0555-83-5240 fax.0555-83-5100

e-mail: nyuushi@kenkoudai.ac.jp <http://www.kenkoudai.ac.jp/>





PAS system

Power Assist Stimulation system PASシステム GD-601

PASシステムGD-601 認証番号219AGBZX00074000

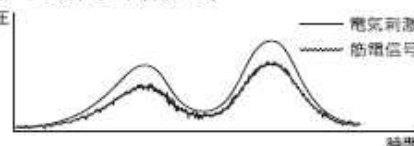
NEW MODEL




**より繊細な治療を可能にする
パワーアシストモード**

筋電に応じた電気刺激を与え、随意運動をアシスト。「コップをつかむ・離す」等の日常生活に即したりハビリが行えます。

パワーアシストモード(イメージ)



時間

研究開発ご協力先: 慶応義塾大学 月が瀬リハビリテーションセンター

運動介助型電気刺激装置の開発と脳卒中片麻痺患者への使用経験
村岡 慶裕 他 理学療法 第31巻1号 29-35頁(2004)



オージー技研株式会社

本社/〒703-8251 岡山市海苔1835-7 TEL(086)277-7181 FAX(086)274-9072
<http://www.og-giken.co.jp/>

営業所/

札幌 ☎(011) 841-9777	新潟 ☎(025) 285-0210	岡山 ☎(086) 276-8384
奈良 ☎(019) 634-0901	静岡 ☎(054) 237-5711	高松 ☎(087) 837-8055
仙台 ☎(022) 308-6477	長野 ☎(0263) 40-2755	広島 ☎(082) 832-2788
千葉 ☎(047) 468-6061	名古屋 ☎(052) 687-2290	福岡 ☎(092) 712-1516
埼玉 ☎(048) 685-0980	金沢 ☎(076) 233-2765	熊本 ☎(096) 389-6667
東京 ☎(03) 3822-8011	大阪 ☎(06) 6385-1525	長崎 ☎(095) 843-5201
神奈川 ☎(045) 714-9352	神戸 ☎(078) 979-1650	鹿児島 ☎(099) 285-7676

休館時間: 月～金 10:00～18:00

0120-33-7181

※本誌は、貴社の情報に役立ててください。

山梨県作業療法士会 各種申請書について

- 入会申請書
- 退会届
- 登録変更届
- 休会・復会届

上記の各申請書を山梨県作業療法士会ホームページからダウンロードして頂き、下記まで、郵送又は FAX にてご連絡ください。もしくは直接、下記連絡先までご連絡頂きますようお願い申し上げます。

連絡・郵送先

山梨県作業療法士会 事務局 管理部

〒400-0831 山梨県甲府市上町 753-1

甲府城南病院 リハビリテーション部内

FAX：055-241-8660（代） TEL：055-241-5811（代）



編集後記

前々から、エアコンから悪臭がしていたのでクリーニングを依頼しました。結果、無臭になり快適な夏を過ごせそうです。(米)

昨年に引き続き、梅酒を作ってみました。今年は黒糖梅酒です。今から出来上がりが楽しみです。(な)

久々に OT 室に戻り、高齢化対策に苦戦する日々です。(ふ)

毎日暑さが増し活動を開始する時期になりました。今年はカイトボードにはまってみようかと思っています。(つ)

あっという間に今年も半分終わってしまい、もう夏休み。今年はどこで何をしようか。。。。と思案中です。皆さんはどんな夏休みを過ごしますか？(み)

最近、扇風機とお友達になりつつあります。もう少しアクティブに生きたいな・・・と思う、今年の夏です。(河)

今年度から企画編集部の部長をさせていただきます。広報紙への感想・ご意見等あればよろしくお願い致します。(い)

発行人：山本 伸一

編集人：佐藤 真一・飯野 知一・勝俣 奈央子・三枝 美和・小澤 有香・角田 幸一・内藤 和也・藤原 浩宣・米山 敦・河野 香

発行所：山梨県作業療法士会 広報局 企画編集部

山梨厚生病院 〒405-0033 山梨県山梨市落合 860 TEL 0553-23-1311 FAX 0553-23-0168

印刷所：エンドレス（株）〒405-0014 山梨県山梨市上石森 123 TEL 0553-22-4574